

ものれ〜る 51号



平成 27年 6月 15日 発行

ご意見・ご感想をお寄せください。

発行 武蔵村山市都市整備部多摩都市モノレール推進担当

Tel 042-565-1111(内線 273)/Fax 042-566-4493/E-mail tamamono@city.musashimurayama.lg.jp

前号の『ものれ〜る』でお知らせした『交通政策審議会答申に向けた検討の中間のまとめ』の発表や、新青梅街道拡幅整備事業の事業認可の進展など、モノレール延伸に向けた環境は近年大きく動いています。そこで、あらためて多くの皆さんに延伸に関心を持っていただくため、本市や東京都等におけるこれまでの取組や出来事を振り返ってみました。(赤は本市のもの、青は東京都のもの、緑はその他のものです。)

年 度	取組内容・出来事	
平成4年度	<ul style="list-style-type: none"> ○東京都の「多摩島しょ振興推進本部会議」において、次期整備路線に関する決定がなされ、上北台・箱根ヶ崎間が「次期整備路線のうち事業化すべき路線」とされる。 ○鈴木俊一都知事から市に対して「モノレール元年」の掛け軸の贈呈を受ける。 	
平成6年度	○モノレール専用道の国庫補助事業採択(上北台～箱根ヶ崎間の延長約7km)	
平成10年度	○平成10年11月27日 上北台駅～立川北駅間開業	
平成11年度	<ul style="list-style-type: none"> ○平成11年10月 上北台駅への市内循環バス乗入れ開始(※玉川上水駅への乗入れは平成3年) ○平成12年1月10日 立川北駅～多摩センター駅間開業 ○平成12年1月27日 国の「運輸政策審議会答申18号」において、多摩都市モノレールの箱根ヶ崎方面延伸について、「平成27年までに整備着手することが適当である路線」と位置付けられる。 	
平成16年度	○平成17年3月 新青梅街道の都市計画変更決定(新青梅街道の交通渋滞緩和の観点から、道路幅員を18mから30mへ拡幅するもの → モノレール導入空間の確保につながるものであり、延伸実現に向けて大きく前進)	
平成20年度	<ul style="list-style-type: none"> ○平成21年1月 「モノレールを呼ぼう! 延伸に向けたシンポジウム」の開催(首都大学東京秋山教授による基調講演、パネルディスカッション) ○PRのぼり旗等の作成 	
平成21年度	○平成21年9月 モノレールを呼ぼう! 市民の会の設立	
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ○モノレール基金設置(10年間で10億円の積立を目標) ○平成23年12月 新青梅街道第1工区(東大和市上北台1丁目～武蔵村山市神明4丁目間約1.1km)の事業認可取得 	
平成24年度	○平成24年7月 新青梅街道第5工区(瑞穂町大字殿ヶ谷～瑞穂町大字武蔵間約1.4km)の事業認可取得	
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> ○モノレール募金の開始 ○モノレールグッズ(アドロール付シャープペンシル)企画・販売 ○平成26年3月 新青梅街道地区まちづくり計画(新青梅街道沿道における土地の適正かつ効果的な利用やまちの軸としての機能向上を図るもの)の策定 	
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ○各種モノレールグッズ(クリアファイル、付箋紙)、モノレールスイーツの企画・販売 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○平成27年3月 新青梅街道第3工区(武蔵村山市本町1丁目～同三ツ木1丁目間約1.6km)の事業認可取得 ○平成27年3月 東京都による「交通政策審議会答申に向けた検討の中間のまとめ」の発表 	

3月31日に新青梅街道

第3工区の事業認可があり、

モノレール延伸にまた一步

前進

市では、行政と市民の皆さまが**一体**となった**促進活動**の一環として、「モノレール延伸 PR 名刺の台紙」をホームページ (<http://www.city.musashimurayama.lg.jp/keikaku/1143/7379/007818.html>) に掲載しています。名刺台紙の裏面にはモノレールに関するだけでなく、**武蔵村山市のPR**として市民の足 **MMシャトル**や**村山デエダラまつり**・**観光納涼花火大会**等のイベント、**特産**等の紹介を載せています。

武蔵村山市

MMシャトル



昭和 55 年から市内循環バス (MMシャトル) を運行しています。携帯やパソコンからMMシャトルの運行情報 (現在のバスの位置など) を検索できるバスロケーションシステムも導入しています。

Mジロ



市ホームページ

MMシャトルは4つのルートがあり、1乗車均一170円です。
多くの方々に利用していただくことが公共交通の維持や充実に繋がります。

今年で第10回を迎える村山デエダラまつり。
今年は10月31日・11月1日に開催されます。
新しいデエダラボッチがお披露目となる今回は特に注目です！

武蔵村山市

村山デエダラまつり



市内に古くから伝わる「デエダラボッチ」という巨人伝説にちなんで名づけられたまつりです。まつりのクライマックスは夜の山車巡行。山車の数々、踊り、太鼓が見どころです。(10月下旬開催)

Mジロ



市ホームページ

都立で最大の都市公園
公園内にはかたくり群生地・里山民家・あそびの森・冒険の森等様々な施設があります。
一日では廻りきれないほど施設が充実した公園で、自然をたくさん感じられます。

武蔵村山市

都立野山北・六道山公園



都内で最大の都立公園です。鳥や虫、野草など様々な生き物が共生していて、身近な自然を体験できる活動拠点となっています。冒険の森、あそびの森など子どもに楽しい施設も充実しています。

Mジロ



市ホームページ

他にも

- 村山大島紬：東京都指定無形文化財です。
- 村山うどん：こしのある麺で醤油ベースのつけ汁に付けて食べます。
- ひまわりガーデン武蔵村山：種まきから市民の方々と協働で大切に育てています。
- 村山温泉かたくりの湯：天然温泉。季節によって変わるイベント風呂がおすすめです。
- みかん狩り：多摩地域で有数の生産量です。
- 観光納涼花火大会：およそ2000発の花火を打ち上げます。メッセージ花火も注目です！
- かたくり群生：野山北・六道山公園の一角にあり、春には20,000株のかたくりの花が開花します。



A grid of 12 small cards, each featuring a different event or attraction from Musashimurayama City. Each card includes a small image, a title, a brief description, and a QR code for more information. The events include MM Shuttle, Deedara Festival, Park, Sunflower Garden, Fruit Harvesting, Fireworks, and more.